

心に残る文化財子ども塾 松江市立古志原小学校

1. 活動の概要

7月14日(金)、松江市立古志原小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。学校周辺の遺跡や、火おこしについて学習し、体験活動で「火おこし体験」を実施しました。

113名の児童たちを2つのグループに分け、座学と火おこし体験を交代で各50分ずつ行いました。

座学では、埋蔵文化財についての説明や、古志原小学校周辺の遺跡紹介、出土遺物の見学を行いました。遺跡や出土遺物の写真を中心に解説すると、集中して聞き入っていました。出土遺物の見学では、古志原小学校周辺の遺跡から出土した遺物を見て「学校の周りにこんなものがあったのか」と驚いた様子でした。触ることができる土器を手に取り、それぞれの感触や質感の違いを確かめていました。

火おこし体験では、火おこしの歴史について説明したのち、屋外で2人1組となって実施しました。当日は湿度が高く、小雨が降りだした時もありましたが、約半数の児童が火をつけることができました。児童たちからは、「もっとやりたかった」「ほかの火のつけ方も試してみたい」と、意欲的な意見・感想が寄せられました。

2. 活動の様子



授業の様子1



授業の様子2



火おこしの歴史について解説



火おこしの様子

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- 島根県にどのくらい古墳があるのか知りたかった。
- 火おこしで今回はマイギリ式をやったと思うけど、ちがう火おこしをしりたいです。
- 昔の人はすごいなあーと思った。
- 火がつくまで長かったのが心に残った。
- 火花式発火法で火をつけてみたい。
- 土器を作ってみたい。
- 火おこしは楽しかったけど、火が付かなかつたからくやしかった。
- まが玉作りを体験したいです！
- 火種をフーフーするのが一番心に残って楽しかったです。
- じっさいに遺跡をほってみたい。
- 土器をさわられてかんしよくを分かってよかったです。
- たて穴住居に住んでみたいです。
- 古志原小学校のまわりにも遺跡があることがびっくりした。

2) 担任の先生から…

- 子供たちが本気になって火起こしをしました。体験を通して昔のくらしを学ぶことができよかったです。子どももすごく喜んでいました。
- 古志原の歴史学習は、子ども達にとって言葉が難しく、理解するのに苦労している感じでした。もう少し言葉が優しいと分かりやすいかなと思いました。

3) 埋文センターから

児童のみなさんは、同じ学級の仲間とともに協力しながら火起こしを行っていました。当日の天候・湿度のせいもあり、残念ながら火をつけることができなかった児童もいましたが、「もっとやりたい」「他のつけ方を試したい」という活発な意見を多く聞くことができました。また、古志原小学校周辺の遺跡についての学習では、学校や自宅の周辺に遺跡があることに驚きながらも、「実際に行ってみたい」「発掘調査してみたい」と感想を述べてくれた児童が多くいました。

今回の子供塾が、児童たちにとって郷土の歴史に関心を持つ切っ掛けの一つになってくれたら嬉しいです。